

たかく則男

区議会レポート



日頃よりの心温まるご支援に感謝申し上げます。
「守りたい人がいる。守りたい街がある」との決意のもと、子育て・若者支援、高齢者・障害者施策、災害対策の強化や自然エネルギーの活用など重点政策に積極的に取り組んでまいります。
今後とも、ご支援ご指導よろしくお願いいたします。

平成27年第3回定例会決算特別委員会で質問しました。

木材の公共施設での利用について



Q 木材の利用は、快適で健康的な住環境等の形成に寄与するのみならず、地球温暖化の防止、地域経済の活性化にも貢献している。国では「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を制定。世田谷区における公共施設への木材の利活用の方針を早期に定めるべき。



A 木材の利用は、公共施設の整備にあたり重要な視点ではある。
関係所管とも、充分協議した上で、公共施設等総合管理計画の策定にあわせて研究する。



通電火災対策について



Q 木造密集地域での通電火災対策として、感震ブレーカーは有効であり、設置促進を区が進めるべきと提言した。区として、分電盤、コンセント、簡易の3つのタイプの普及啓発・設置促進に向けての助成促進を早期に実施すべき。区の見解を問う。



A 区としては、他自治体の事例や、平成27年度のモデル事業の検証結果等を踏まえ、対象地域の優先度、公費負担の在り方も含め、感震ブレーカーの設置促進策を総合的に検討する。

地下式立体駐輪場について



Q 地下式立体駐輪場は、簡単で迅速な入出庫、立体式で収容効率に優れ、盗難の心配もない。設置場所を取らず、土地がないところでも設置可能。下北沢駅の北口には、駐輪場が不足しており、駐輪場整備を求める声が多くある。補助54号線の整備に合わせて地下を活用した立体駐輪場を整備することを求める。



A 区としても、「立体機械式地下駐輪場」を整備手法の一つとして検討する。
今後も、安心安全な自転車利用環境の整備に取り組む。



保育待機児対策について



Q 認可保育園、認証保育所、保育室、保育ママなどの施設を利用することができず、保育待機児童となって、やむをえず、無認可保育施設等に預けている保護者に対して、保育料の一部を助成する制度を検討すべき。区の見解を問う。



A 効果や課題を十分に精査し、なるべく早く結論を出したい。



皆様のご意見・ご要望を
公明党世田谷区議団まで
お寄せ下さい。

自宅

〒154-0005 世田谷区三宿2-14-7-304
Tel/Fax. (3422) 0828
E-mail: fwje8157@mb.infoweb.ne.jp

公明党世田谷区議団

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
Tel. (5432) 2788 Fax. (3413) 7233

<http://www.attakaku.com>

